

バナハ、一名ハダウコン、トモギ、ツラフリ、播州シロモジ、加州ノソバ、豫州クロヂシヤ、信州山中ニ  
 自生多シ、冬ハ葉ナシ、春初先花ヲ開ク、山茱萸ノ花ニ似テ色淺シ、葉ハ大サ三寸許圓ニシテ三尖  
 アリ、藏器ノ説ニ高サ丈餘、一葉三極ト云時ハ、是モ亦烏藥ノ一種ナリ、天台ノ烏藥ニ非ズ、根ノ形  
 モ連珠ヲナサズ、又圓葉ノ者アリ、

〔草木育種後編下品〕烏藥本 享保中、唐山より、台州産と衡州産と二種を來す、衡州産は琉球にて

いふハマバシガラキといふ、夏月莖を挿して活すべし、冬土藏へ入べし、少し暖なる處にては地  
 に栽こもにて雪霜を避けば枯槁す、台州のものは紀州にていふカメバといふもの也、是は園に  
 植てよし、寒を恐れず、又和産烏藥あり、享保年中將翁先生官園に上る、即本艸陳藏器説處のもの  
 也、是即和蘭にいふサツサプラスなり、

〔採藥錄木〕烏藥

東都官園ニ漢種アリ、今往々栽ユ、秋八九月ニ掘採リ、洗淨シ日乾スベシ、舶來ノ者ニ比レバ稍堅  
 シ、舶來ニ二品アリ、圓ナルヲク、リト云、長ヲ棒様ト云、官園ノ者ハ此棒様ナリ、

黒モジ

〔大和本草十二〕黒モジ 山中ニ生ズ、葉ハ漆ニ似テ又榎ニ似タリ、葉ニ大小ノ異アリ、冬ハ葉落ツ、

皮黒クシテ香氣アリ、故ニ是ヲ用テヤウジ牙杖トス、皮ヲツケ用ユ、又ホヤウジト名ヅク、又其枝ヲ籬ト  
 ス、雅致ヲ助ク、二月ニ小黄花一所ニ多クアツマリ開ク、秋實ノル、榎ノ實ノ大ノ如シ、肉ニ油アリ、  
 タブノ木ニ似タリ、

〔廣益地錦抄一〕黒ちろもじちろ木春中 花は黄色にて、一所にあつまり咲、見るにたらず、實秋くろくちい  
 さくむすぶ、みるかいなし、木の皮くろくして香氣あり、やうじにけずりて用、牙のくすりなりと  
 ぞ、

〔草木育種後編下類并胃稱の類〕烏樟本草 花戸にて玉まんきくといふ、早春の切花に用ふ、園中